今すぐ確認を！

地震はいつ、どこで起きるかわからない

昭和南海地震から80年 過去の教訓を未来の備えに

昭和21年（1946）12月21日、昭和南海地震が発生しました。当時の新聞記事からは、家屋の倒壊や家具の転倒による圧死、建物の崩壊で道路が通れなくなるなど、各地で大きな被害が出たことが分かります。南予を中心に津波による被害も発生し、地盤沈降による広範囲の浸水も起きました。

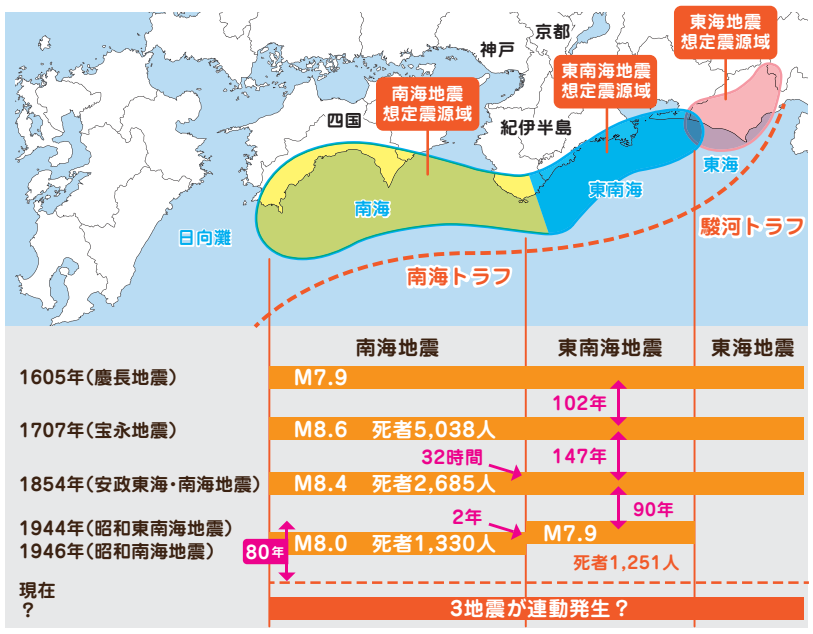
南海トラフ地震は繰り返し発生しており、前回の昭和南海地震から80年が経過した今、次の地震への備えが重要です。

今後30年以内に南海トラフ地震が発生する確率は、60～90％程度以上とされています。愛媛県では、昭和南海地震の教訓を忘れず、防災意識を高めるため、12月21日を「えひめ防災の日」、12月17日～23日を「えひめ防災週間」と定めています。過去の被害から地震が暮らしに及ぼす影響を学び、いざというときに備えるため、日頃の対策を見直しましょう。

南海トラフ地震は繰り返し起こっている！

地震被害想定結果

これまでに南海トラフを震源とする地震は90～150年の周期で発生。前回、昭和21年（1946）に昭和南海地震が発生してから約80年が経過しているため、大規模地震の発生が懸念されています。



昭和南海地震における愛媛県の被害

※当時の新聞から抜粋



●一家四人圧死 残った三孤児 松山の悲劇
土塀および家の壁等が三重に倒れ、その下敷きになって死亡

●戦災さながら 郡中、松前の惨状
道路には瓦礫が散乱し、町民警防団員が屋根に上って片付け・修理に道路は通行困難な状態

●南豫には津波が
海岸線一帯の被害が大きく、浸水百二十戸は西宇和郡三瓶町の津波によるもの

●南海時評／要約
国の地震予知に期待しつつ、**国民自ら建物の耐震化に努めなければならない**

「家具等固定及び感震ブレーカーに係る補助制度（令和8年）」も活用しましょう





突然襲ってくる地震には、事前の備えで対策

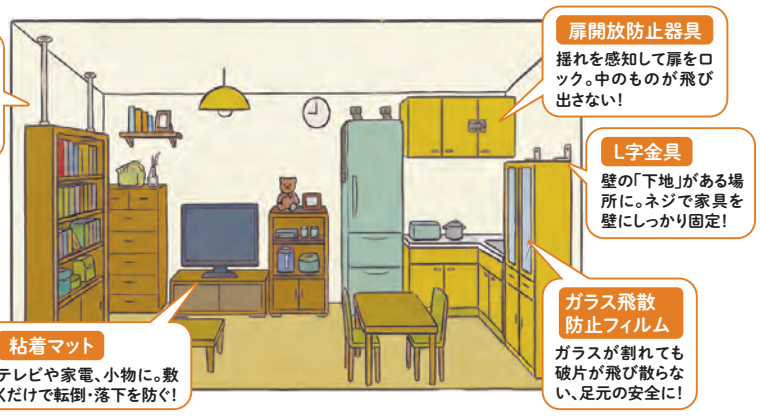
家具固定、非常用持出品の準備は万全？

昭和南海地震でも、家屋の倒壊や家具の転倒による被害が多数発生しました。しかし、現在は住宅の耐震化や家具の固定など、事前の対策によって被害を軽減できます。南海トラフ地震に備え、次の6つの防災対策を進めましょう。

①自宅の耐震化
②家具類の固定
③津波避難場所・避難経路の確認
④感震ブレーカーの設置
⑤非常用持出品の準備
⑥地域の防災訓練に参加

これらの対策を進めることで、想定される死者数を約8割減らせるとされています（1万2750人から2447人に減少）。①②④は補助制度がありますので、各市町のHPや防災担当窓口で確認しましょう。また、各市町が配布しているハザードマップで自宅や職場など、身近な場所の災害リスクを確認しておくことも大切。「えひめ防災の日」「えひめ防災週間」を機会に、家族で防災について話し合い、いつ起きるか分からない地震への備えを見直しませんか。

地震から家族と自分の命を守る！家具の固定5大ポイント



寝室や出入口付近には家具を置かない・固定を徹底！

＼ 定期的に中身のチェックも！ ／

非常用持出品のチェック



水・食料品
- ☐ 飲料水
- ☐ 非常用食品
- ☐ お菓子

感染症対策品
- ☐ マスク
- ☐ 消毒液
- ☐ 体温計

生活用品
- ☐ 衣類
- ☐ タオル
- ☐ 防寒シート
- ☐ カイロ
- ☐ 救急セット

電気・情報
- ☐ 懐中電灯
- ☐ ランタン
- ☐ ラジオ
- ☐ 電池
- ☐ モバイルバッテリー

トイレ・衛生用品
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ ドライシャンプー
- ☐ 生理用品

赤ちゃんがいるご家庭は
☐ おむつ ☐ おしりふき ☐ 粉ミルク・哺乳瓶 ☐ 離乳食 など

詳しくはリンクをチェック！

TOPICS.1
住まいの耐震対策推進キャンペーン

家具固定&感震ブレーカーで地震から家族を守りましょう！ 家具や家電の転倒・落下防止用品、感震ブレーカーなど耐震対策グッズを購入したレシートを添付し、防災アンケートに回答して応募すると、抽選で50名に10,000円分のイオンギフトカードが当たります。

〆12/1（火）～R9.1/31（日）

詳細はコチラ！

TOPICS.2
避難実践キャンペーン「逃げチャレ」（津波編）

ハザードマップで津波の危険を調べる「調べチャレ」、実際に避難場所まで行ってみる「逃げチャレ」の2つにチャレンジ。キャンペーンへの参加は愛媛県LINE公式アカウントから。お散歩感覚で参加して、デジタルギフトを当てましょう！

〆～12/21(月)

詳細はコチラ！